

第７次シカ管理計画（案）の概要（やさしい版）



1　「第７次シカ管理計画」の目的は？

○ この計画は、岩手県で生息しているニホンジカの数を適切に管理し、人とシカが安心してくらせるようにするための計画です。

○ 近年、シカの数が増え、住む場所も県内の広い地域に広がっています。このため、畑や田んぼの作物が食べられたり、植えた木が傷つけられたりする被害が多くなっています。

○ また、山に生えている大切な植物が食べられてしまう問題も起きています。

○ シカを必要以上に増やさないように管理し、人のくらしと豊かな自然の両方を守ることが、この計画の目的です。期間は、令和9年度から令和１３年度の5年間です。

2　いまの状況と課題は？

○ 岩手県では、シカが県内のほぼすべての地域で見られるようになり、現在は約１２万７千頭いると考えられています。

○ シカは草や木の芽を食べるため、畑の野菜や牧草が食べられたり、植林した木が傷つけられたりしています。農業や林業の被害は毎年大きな額になっています。

○ さらに、生息数が少なく大切な高山植物が生えている早池峰山ではその植物が食べられる被害も起きています。

○ これまで多くのシカを捕まえる取組を行ってきましたが、まだ数を十分に減らすことができていません。また、シカ対策を行う人を増やしたり、被害を減らす方法を工夫したりすることも課題となっています。



3　計画で取り組むことは？

○ シカの数を減らすため、年3万頭以上の捕獲をめざします。特にシカがたくさんいる地域では、重点的に捕獲を行い、被害を少なくしていきます。また、シカの数や分布を調べ、効果のある方法で対策を進めます。

○ 畑や田んぼを守るため、防護柵などを使ってシカが入れないようにし、作物への被害を防ぎます。設置した柵をしっかり点検し、長く使えるようにすることも大切です。

○ 人とシカの生活する場所を分けることも重要です。畑や草地を手入れしたり、やぶを刈ったりして、シカが近づきにくい環境をつくります。

○ 早池峰山では、高山植物を守るための柵を設置し、シカの被害を調べ続けます。

○ 対策を進める人を増やすため、捕獲の技術を学ぶ機会を設けます。

○ 県や市町村、地域の人たちが協力し、農作物や自然を守り、人とシカが共にくらせる地域をめざします。

意見の感想の提出について

提出方法	● 郵送(手紙やハガキ)の場合 あて先に「〒020-8570 岩手県環境生活部自然保護課」と書いて送ってください。住所は書かなくても大丈夫です。 ● ファックス(FAX)の場合 「019-629-5379」の番号にファックスを送ってください。 ● 電子メールの場合 「FA0031@pref.iwate.jp」までメールを送ってください。
意見や感想の書き方	• 意見や感想の書き方は自由です(決まりはありません)。 • ファックスや電子メールを使って意見や感想を提出する場合は、県のホームページにある回答用紙【やさしい版】を使うと便利です。 https://www.pref.iwate.jp/public_comment/1097882/1102526